

材料工学委員会（第26期・第10回）

議 事 要 旨

I 日 時 令和7年6月16日（月）15：00～17：00

II 会 場 日本学術会議6－C(1)会議室 及びオンライン会議

III 出 席 出席41名（現地5名、オンライン36名）、欠席9名、参考人1名

IV 議 事

（1）前回議事録の確認（資料提出のみ）

第9回材料工学委員会の議事録（資料1）を委員に提出し、異論なく承認された。

（2）研究力強化とダイバーシティに関する講演会

産業技術総合研究所 量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター
センター長（前東京工業大学学長）益一哉先生

講演について、質疑応答・意見交換がなされた。講演資料について益先生より提供があり、委員によって共有された。

（3）関連分科会活動報告について

下記分科会およびワーキンググループ(WG)より、簡単な進捗報告が行われた。

- ・ダイバーシティWG（中野裕美委員）：アンケートの中から材料工学特有の課題について報告された。今後、次回アンケートに向けて調査項目を議論する予定。
- ・水素科学WG（河野委員）：8月1日（金）開催予定のシンポジウムの概要紹介があった。
- ・バイオマテリアル分科会（塙委員長）：11月開催予定の公開シンポジウム「界面反応に基づくバイオマテリアル」について準備中。
- ・材料工学中長期研究戦略分科会（塙委員長）：意思の表出執筆は順調。分科会で確認の後、9月までには提出予定。その後、公開シンポジウム開催も予定。
- ・サーキュラーエコノミーのための資源・材料の循環利用検討分科会（笹木委員長）：執筆要綱に合わせ、意思の表出を修正中。7月開催の分科会承認後提出予定。
- ・新材料デザイン検討分科会（中野貴由委員長）：幹事会および拡大幹事会を開催し、年内シンポジウム開催、27期に向けた意思の表出の方向性を議論する。
- ・将来展開分科会（尾崎委員長）：研究インテグリティに対する意識調査のため、アンケートを実施し、その結果を中心に意思の表出に向けて取りまとめ中。

（4）その他

次回委員会は講演等を検討。学術会議は法人化が決定したが、詳細は未定。（岸本委員長）

<資料>（配布・画面共有）

資料1：前回議事録

資料2：水素シンポジウム資料_1

資料3：水素シンポジウム資料（プログラム）_2

以上